

研究課題名	超音波画像の自動解析を可能とする深層学習モデルおよび支援技術の構築
研究期間	2026年7月10日 ～ 2029年3月31日
研究の対象	2016年8月6日～2026年5月16日の間に広島大学病院の整形外科外来を受診および入院された方、加えて足に痛みがなく健常ボランティアとして研究にご参加いただいた方で、動作解析・超音波検査・運動した量を計るセンサーを受けられた方が対象です。 具体的には、過去研究課題「外側ウエッジインソールが膝内反モーメントと内側半月板逸脱に及ぼす影響（E2016-0449）」、「高位脛骨骨きり術が内側半月板逸脱に及ぼす経時的影響（E2019-1595）」、「三次元動作解析の併用測定を可能とした超音波検査手法の確立（E2021-2498）」、「スポーツ競技中に生じる膝ストレス可視化への挑戦（E2021-2495）」にて取得した、歩行解析、超音波検査・活動情報・身体測定・身体所見アンケート情報を集計します。また診療録（カルテ）の病歴・全身状態および画像情報は、「外側ウエッジインソールが膝内反モーメントと内側半月板逸脱に及ぼす影響（E2016-0449）」、「高位脛骨骨きり術が内側半月板逸脱に及ぼす経時的影響（E2019-1595）」、「三次元動作解析の併用測定を可能とした超音波検査手法の確立（E2021-2498）」から集計します。 これらの情報は研究解析の解析補助を目的とした自動解析モデルの作成に使用させていただきます。
研究の目的・方法	研究目的：超音波画像の解析を補助する方法を確立することです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと、検査のために測定したデータを二次利用させて頂いて、これらの解析を簡略化および見える化できるプログラム開発に使用させていただきます。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：身長、年齢、体重、性別、病歴、動作解析結果、画像検査結果、活動量結果、アンケート結果、血液検査結果等 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 生体環境適応科学 助教 石井陽介
利用または提供を開始する予定日	2026年 7月10日（本学倫理委員会の承認）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 生体環境適応科学 助教 石井陽介

その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。 なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学大学院医系科学研究科 生体環境適応科学 担当者：石井陽介 〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5417